

ワークショップ7 善通寺市社協

集落やコミュニティとの関係 ～風土や文化と地域福祉～

アドバイザー 草平 武志(山口県立大学)
菱沼 幹男(日本社会事業大学)

日本地域福祉研究所作成
複写禁

参加者状況

1. ワークショップ会場

偕行社(重要文化財)



2. 参加者

【一般】

- ・ 社協 9名
- ・ 行政 1名
- ・ 施設・医療 2名
- ・ 教育 1名
- ・ 大学生 6名

計67名

【善通寺市内】

- ・ 地区社協 8名
- ・ 連合自治会 7名
- ・ 民生委員 11名
- ・ 行政 3名
- ・ 施設・医療等 5名
- ・ 社協 11名
- ・ 大学生 3名

目的

地域福祉計画・活動計画策定時に実施した住民座談会で、地域の生活課題・福祉課題が浮き上がってきた。自治会等があり、人と人とのつながりが残っている地域、そうでない地域等、一つの市の中でもいろいろな地域がある。地域の連帯感が薄れていく中で、地の人、風の人との日ごろのつながりがないことが、なぜ問題なのか。交じっていくには、どうしたらいいか。今までのやり方でいいのか。つながる仕組みがなぜ必要か。持続可能な地域コミュニティの再構築をめざして、地域のみなさんと共に考える。

展開方法①【地域を見る】



展開方法②【地域を知る】



善通寺市の風土や文化

笹川龍一氏 (善通寺市教育委員会 教育部長)



善通寺市の指標・社会資源

松村早記氏 (善通寺市社協 法人運営係長)



善通寺市の地域福祉活動

武田裕司氏 (善通寺市社協 事務局長)

【地域の概要①】

【善通寺市の歴史】

- ①2～3万年前から人が生活(旧石器土器出土)
- ②多くの古墳が築かれ、今も保存されている
- ③空海が善通寺を建立
- ④明治に陸軍第11師団
(初代師団長:乃木希典)が
開設され、急速に近代化



【地域の概要②】

【善通寺市の現状】

- ①人口約32,000人、高齢化率29.7%
- ②市面積39.93km²、東西8.9km、南北7.96km
- ③市の中央部に善通寺があり、自衛隊、国立病院、大学等の公共機関が多く立地
- ④就業者は約15,700人（第1次産業6.4%、第2次産業23.7%、第3次産業69.4%）

【地域の実践】

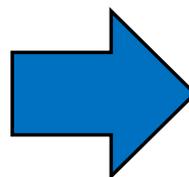
【善通寺市社協の取り組み】

- ①平成元年に8地区全てに地区社協設置
- ②地区の公民館を活動拠点
- ③地区社協ごとに地域福祉活動計画を策定
- ④地区社協の主な活動は、見守り、安否確認、給食サービス、住民座談会、研修、広報誌発行、アンケート調査等

展開方法③【実践の企画】

8地区ごとにグループ討議

地元の声



強みや課題の整理

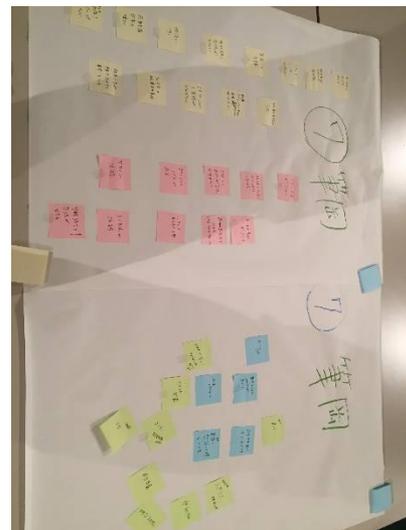
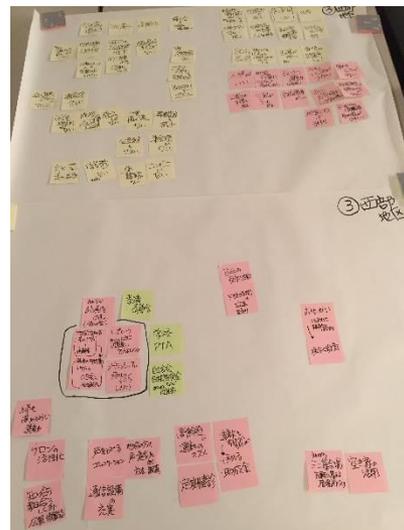
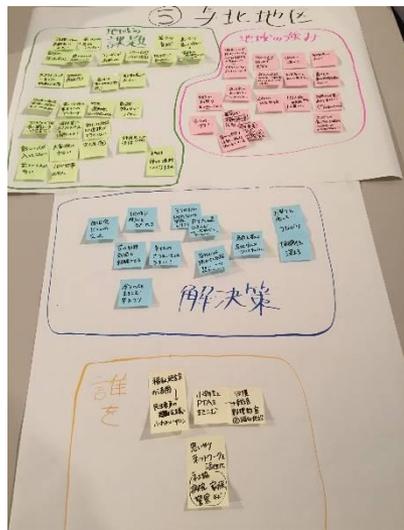
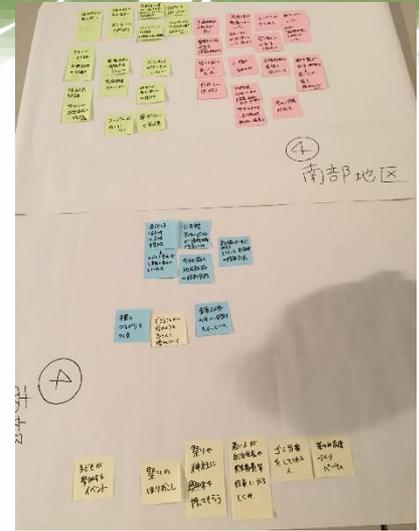
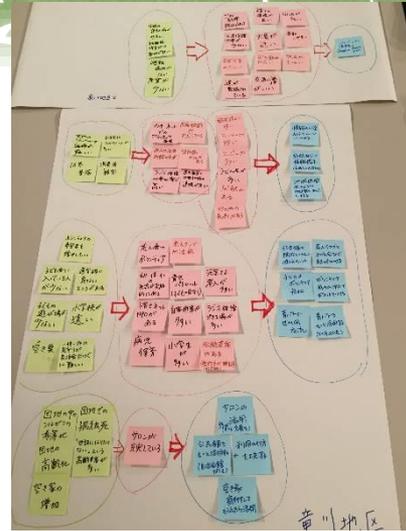
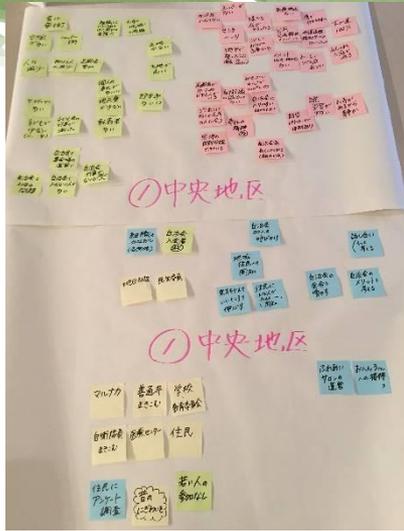


解決方策の検討



強みを生かした取り組み

結果



今後に向けて①

地区社協ごとに全世帯構成員を対象とした
ニーズ把握と担い手の掘り起こし

親子を対象とした取り組みで
長期的に持続可能な組織作り

小地域福祉活動と企業や福祉施設の
社会貢献活動と結びつけ

今後に向けて②

多様な強みとニーズの結びつけ

個別ニーズに見据えた地域支援

地域内の社会関係と社会的役割を創る
伝統行事や名産品の活用

顔と名前の分かる関係を築き
無理なく続けられる助け合い